

SF 1-1 1 : オリエンテーション・総論1 (ヒトの占める位置)

日時 : 5月10日 (月) 1時限

担当者 : 永島 雅文(解剖学)

内容 :

人体の構造と機能1 コースの内容についてオリエンテーションを行う。

★C-1-2) 総論1 (ヒトの占める位置)

1. 動物分類学 (進化の歴史) におけるヒトの位置づけを説明できる。
2. 脊椎動物の体制の特徴について説明できる。
3. 哺乳動物の形態学的特徴について説明できる。

キーワード :

Homo sapiens, 動物界, 上皮性体腔, 左右相称性, 頭尾軸, 中枢神経系, 頭化 (情報の集約)

教科書 :

◆ 日本人体解剖学 (南山堂) 第20版 : 上巻 pp.2~22, 下巻 pp.401, 406~407

準備 :

予習 : SF1-1 総論1~3の予習として教科書を読んでおく。所要時間30分

復習 : 2020年度SF1-1 定期試験の該当箇所での学習内容を確認する。

SF 1-1 2 : 総論2 (ヒトに固有な能力)

日時 : 5月10日 (月) 2時限

担当者 : 永島 雅文(解剖学)

内容 :

★C-1-2) 総論2 (ヒトに固有な能力)

1. 直立二足歩行に伴うヒトの体制の特殊化について説明できる。
2. ヒトの手がなしうる複雑で巧緻な運動について説明できる。
3. 言語の機能に関わる構造について概略的に説明できる。

キーワード :

脊柱の弯曲, 骨盤, 下肢の支持性, 上肢の可動性 (自由度), 手の対立運動, 感覚性/運動性言語中枢

教科書 :

◆ 同上

準備 :

同上

SF 1-1 3 : 総論3 (生命現象の階層構造)

日時 : 5月24日 (月) 1時限

担当者 : 栗崎 知浩(解剖学)

内容 :

★C-2-1), C-2-2) 総論3 (生命現象の階層構造)

1. 分子から個体にいたる人体構造の階層性について概略的に説明できる。
2. 受精から生殖を経て死にいたる生活環について概略的に説明できる。

キーワード :

生体高分子, 生体膜, 細胞小器官, 細胞, 組織, 器官,
減数分裂, 有性生殖, 遺伝子型, 表現型

教科書 :

◆ 同上

準備：
同上

SF 1-1 4 : 総論 4 (個体発生と系統発生)

日時：5月24日(月) 2時限

担当者：栗崎 知浩(解剖学)

内容：

★C-2-4), C-1-2), C-2-2)-(2) 総論 4 (個体発生と系統発生)

1. 脊椎動物の個体発生について概略的に説明できる。
2. 脊椎動物の系統発生について概略的に説明できる。
3. 脊椎動物の体軸について説明できる。
4. 解剖学的姿勢について説明できる。

キーワード：

系統発生, 個体発生, ヘッケル, フォン・ベア, 砂時計モデル,
体軸(頭尾軸, 背腹軸, 前後軸, 左右軸), 正中面, 矢状面, 前額面, 水平面(横断面)

教科書：

◆ 日本人体解剖学(南山堂)第20版:上巻 pp.2~8, 下巻 pp.401, 406~407

準備：

予習:教科書の上記の該当箇所を読んでおく。所要時間10分
復習:2020年度SF1-1 定期試験の該当箇所での学習内容を確認する。

SF 1-1 5 : 運動器 1 (骨と筋肉の構造)

日時：5月31日(月) 1時限

担当者：栗崎 知浩(解剖学)

内容：

1. ★D-4-1)① 軟骨の構造と種類を説明できる。
2. ★D-4-1)① 骨の構造と機能を説明できる。
3. ★D-4-1)⑥ 骨の発生と成長を説明できる。
4. ★C-2-2)-(1)⑤ 筋の構造と種類を説明できる。

キーワード：

硝子軟骨, 線維軟骨, 弾性軟骨, 骨端, 骨幹, 骨膜, 骨質(緻密質, 海綿質)
骨単位(オステオン), 層板構造, ハヴァース管, フォルクマン管
膜性骨(付加骨), 軟骨性骨(置換骨), 骨端軟骨, 骨芽細胞, 骨細胞, 破骨細胞
骨格筋, 心筋, 平滑筋, 神経筋接合部

教科書：

◆ 日本人体解剖学 上巻 (南山堂) 第20版: pp.24~36, 194~209

備考：

今年度(2021年度)SF1-1 運動器1~10と骨学実習で履修する内容は、昨年度(2020年度)はCOVID-19対応の一環で二学期(SF1-2)に実施した。

準備：

予習:教科書の上記の該当ページを読んでおく(10分)。
復習:2020年度SF1-2 定期試験の該当箇所での学習内容を確認する。(備考を参照のこと)

SF 1-1 6 : 運動器 2 (関節の構造と動き)

日時 : 5月31日(月) 2時限

担当者 : 栗崎 知浩(解剖学)

内容 :

1. ★D-4-1)① 不動関節と可動関節の構造を説明できる。
2. ★D-4-1)①関節を形態と可能範囲(制限)により分類できる。

キーワード :

骨性連結, 軟骨性連結, 線維性連結,
関節頭, 関節窩, 関節包, 線維膜, 滑膜, 関節腔, 滑液, 関節軟骨
球関節, 蝶番関節, 平面関節, 鞍関節, 車軸関節

教科書 :

- ◆ 日本人体解剖学 上巻 (南山堂) 第20版 : pp.146~153

備考 :

今年度(2021年度)SF1-1 運動器 1~10 と骨学実習で履修する内容は、昨年度(2020年度)は COVID-19 対応の一環で二学期(SF1-2)に実施した。

準備 :

予習 : 教科書の上記の該当ページを読んでおく (10分)。
復習 : 2020年度 SF1-2 定期試験の該当箇所での学習内容を確認する。(備考を参照のこと)

SF 1-1 7 : 運動器 3 (上肢の骨と関節 1)

日時 : 6月7日(月) 1時限

担当者 : 藤田 恵子(解剖学)

内容 :

1. ★D-4-1) 上肢の骨の名称(英語名)を列挙し構造を説明できる。
2. ★D-4-1) 上肢の関節を個々に分類し構造を説明できる。
3. ★D-4-1) 上肢の関節運動を説明できる。

キーワード :

身体の方向性を示す用語,
上肢帯 : 鎖骨 clavicle・肩甲骨 scapula,
自由上肢骨 : 上腕骨 humerus・橈骨 radius・尺骨 ulna・手根骨・中手骨・指骨,
肩関節 shoulder joint, 肘関節 elbow joint, 手の関節, 手根管, 種子骨, 上肢の関節運動

教科書 :

- ◆ 日本人体解剖学 上巻 (南山堂) 第20版 : pp.4~8, 62~79, 163~176, 198~199

備考 :

今年度(2021年度)SF1-1 運動器 1~10 と骨学実習で履修する内容は、昨年度(2020年度)は COVID-19 対応の一環で二学期(SF1-2)に実施した。

準備 :

予習 : 教科書の上記の該当ページを読んでおく。p.62 図2-51を見ながら自分の上肢に触れて構造を確認しておくこと (20分)。
復習 : 2020年度 SF1-2 定期試験の該当箇所での学習内容を確認する。(備考を参照のこと)

SF 1-1 8 : 運動器 4 (上肢の骨と関節 2)

日時 : 6月7日(月) 2時限

担当者 : 藤田 恵子(解剖学)

内容 :

同上

SF 1-1 9 : 運動器 5 (脊椎と脊髄)

日時 : 6月14日(月) 1時限

担当者 : 永島 雅文(解剖学)

内容 :

1. ★D-4-1) 椎骨の一般的形状を説明できる。
2. ★D-4-1) 各椎骨の特徴を説明できる。
3. ★D-4-1) 椎骨の連結装置を説明できる。
4. ★D-4-1) 脊椎全体の特徴を説明できる。
5. ★D-2-1)-(1), (2) 頭蓋腔・大後頭孔・脊柱管と中枢神経との関係を説明できる。

キーワード :

大(後頭)孔, 椎孔, 椎間板(椎間円板), 椎間関節, 椎間孔, 頸椎・胸椎・腰椎・仙骨,
脊柱の弯曲, 脊柱管

教科書 :

◆ 日本人体解剖学 上巻 (南山堂) 第20版 : pp.37~52, 112~113, 448~451

備考 :

今年度(2021年度)SF1-1 運動器 1~10 と骨学実習で履修する内容は、昨年度(2020年度)は COVID-19 対応の一環で二学期(SF1-2)に実施した。

準備 :

予習 : 教科書の上記の該当ページを読んでおく (10 分)。

復習 : 2020 年度 SF1-2 定期試験の該当箇所での学習内容を確認する。(備考を参照のこと)

SF 1-1 10 : 運動器 6 (下肢の骨と関節 1)

日時 : 6月14日(月) 2時限

担当者 : 藤田 恵子(解剖学)

内容 :

1. ★D-4-1) 下肢の骨の名称(英語名)を列挙し構造を説明できる。
2. ★D-4-1) 下肢の関節を個々に分類し構造を説明できる。
3. ★D-4-1) 下肢の関節運動を説明できる。

キーワード :

下肢帯 : 寛骨 hip bone (腸骨 ilium・恥骨 pubis・坐骨 ischium),
自由下肢骨 : 大腿骨 femur・脛骨 tibia・腓骨 fibula・足根骨・中足骨・趾(指)骨,
股関節 hip joint, 膝関節 knee joint, 足の関節, 足弓, 下肢の関節運動

教科書 :

◆ 日本人体解剖学 上巻 (南山堂) 第20版 : pp.80~106, 176~192, 198

備考 :

今年度(2021年度)SF1-1 運動器 1~10 と骨学実習で履修する内容は、昨年度(2020年度)は COVID-19 対応の一環で二学期(SF1-2)に実施した。

準備 :

予習 : 教科書の上記の該当ページを読んでおく。p.80 図 2-68 を見ながら自分の下肢に触れて構造を確認しておくこと (20 分)。

復習 : 2020 年度 SF1-2 定期試験の該当箇所での学習内容を確認する。(備考を参照のこと)

SF 1-1 11 : 運動器 7 (下肢の骨と関節 2)

日時 : 6月21日(月) 1時限

担当者 : 藤田 恵子(解剖学)

内容：
同上

SF 1-1 12 : 運動器 8 (胸郭・骨盤)

日時：6月21日(月) 2時限

担当者：藤田 恵子(解剖学)

内容：

1. ★D-4-1) 胸郭を構成する骨の名称(英語名)を列挙し構造を説明できる。
2. ★D-4-1) 呼吸に関わる筋の働きと関節運動を説明できる。
3. ★D-4-1) 骨盤を構成する骨の名称(英語名)を列挙し構造を説明できる。
4. ★D-4-1) 骨盤計測の意義を説明できる。
5. ★D-4-1) 抗重力筋を説明できる。

キーワード：

胸郭 thorax : 胸椎 thoracic vertebrae・肋骨 ribs・胸骨 sternum, 内・外肋間筋, 横隔膜,
骨盤 pelvis : 仙骨 sacrum・寛骨 hip bone (腸骨 ilium・恥骨 pubis・坐骨 ischium)・尾骨,
(産科的) 真結合線, 分界線, 岬角, 恥骨結合, 抗重力筋, 浅胸筋と浅背筋

教科書：

- ◆ 日本人体解剖学 上巻 (南山堂) 第20版 :
pp.53~61, 86~90, 160~162, 176~178, 236~240, 253~256

参考書：

- ◆ 今年度(2021年度)SF1-1 運動器 1~10 と骨学実習で履修する内容は、昨年度(2020年度)は COVID-19 対応の一環で二学期(SF1-2)に実施した。

準備：

予習：教科書の上記の該当ページを読んでおく。p.53 図 2-42 と p.87 図 2-73 を見ながら自分の身体に触れて構造を確認しておくこと(20分)。

復習：2020年度 SF1-2 定期試験の該当箇所での学習内容を確認する。(備考を参照のこと)

SF 1-1 13 : 運動器 9 (脳頭蓋)

日時：6月30日(水) 1時限

担当者：藤田 恵子(解剖学)

内容：

1. ★D-4-1) 脳頭蓋を構成する骨の名称(英語名)を列挙し構造を説明できる。
2. ★D-4-1) 内頭蓋底の構造を説明できる。
3. ★D-4-1) 頭蓋冠と頭蓋底の骨化様式(軟骨性骨発生・膜性骨発生)を説明できる。

キーワード：

後頭骨 occipital bone・蝶形骨 sphenoidal bone (小翼・蝶形骨洞・トルコ鞍)・
側頭骨 temporal bone (岩様部・内耳道・顔面神経管・乳様突起・茎状突起)・頭頂骨 parietal bone・
前頭骨 frontal bone (前頭洞)・篩骨 ethmoidal bone (篩板・篩骨蜂巢), 内頭蓋底, 骨化, 縫合, 泉門

教科書：

- ◆ 日本人体解剖学 上巻 (南山堂) 第20版 : pp.107~129, 449~450

備考：

今年度(2021年度)SF1-1 運動器 1~10 と骨学実習で履修する内容は、昨年度(2020年度)は COVID-19 対応の一環で二学期(SF1-2)に実施した。

準備：

予習：教科書の上記の該当ページを読んでおく。自分の顔と p.109 図 2-91 を見比べながら構造を確認しておくこと（30 分）。

復習：2020 年度 SF1-2 定期試験の該当箇所での学習内容を確認する。（備考を参照のこと）

SF 1-1 14：運動器 10（顔面頭蓋）

日時：6月30日（水） 2時限

担当者：藤田 恵子(解剖学)

内容：

1. ★D-4-1) 顔面頭蓋を構成する骨の名称（英語名）を列挙し構造を説明できる。
2. ★D-4-1) 眼窩・鼻腔・鼻中隔・口蓋を構成する骨を説明できる。
3. ★D-4-1) 副鼻腔と鼻腔の交通を説明できる。
4. ★D-2-1)-(3) 三叉神経の枝が顔面に出る孔を列挙できる。
5. ★D-4-1) 側頭窩・側頭下窩・翼口蓋窩を説明できる。

キーワード：

下鼻甲介 inferior nasal concha・涙骨 lacrimal bone・鼻骨 nasal bone・鋤骨 vomer・
上顎骨 maxilla（上顎洞）・口蓋骨 palatine bone・頬骨 zygomatic bone・下顎骨 mandible（顎関節）・
舌骨 hyoid bone, 副鼻腔, 三叉神経, 顔面神経, 側頭窩, 側頭下窩, 翼口蓋窩

教科書：

◆ 日本人体解剖学 上巻（南山堂）第20版：pp.107～110, 130～145

備考：

今年度(2021年度)SF1-1 運動器 1～10 と骨学実習で履修する内容は、昨年度(2020年度)は COVID-19 対応の一環で二学期(SF1-2)に実施した。

準備：

予習：教科書の上記の該当ページを読んでおく（30 分）。

復習：2020 年度 SF1-2 定期試験の該当箇所での学習内容を確認する。（備考を参照のこと）

SF 1-1 15：骨学実習 1

日時：7月7日（水） 2時限

担当者：永島 雅文(解剖学) 藤田 恵子(解剖学) 高野 和敬(解剖学) 栗崎 知浩
(解剖学) 矢部 勝弘(解剖学) 青地 英和(解剖学)

内容：

- ★D-4-1) 交連骨格標本、分解骨標本の観察とスケッチを行う。
1. 実際の骨と交連骨格標本を観察して骨と関節の形態を説明できる。

キーワード：

上肢骨：上肢帯（鎖骨・肩甲骨）と自由上肢（上腕骨・橈骨・尺骨・手根骨・中手骨・指骨），肩関節・肘関節・手の関節
下肢骨：下肢帯（寛骨-腸骨・恥骨・坐骨）と自由下肢（大腿骨・膝蓋骨・脛骨・腓骨・足根骨・中足骨・指骨），股関節・膝関節・足の関節
脊柱：頸椎・胸椎・腰椎・仙骨・尾骨
胸郭：胸椎・肋骨・胸骨
骨盤：寛骨・仙骨・尾骨
脳頭蓋と顔面頭蓋

備考：

骨学実習の実施要領は実習前に別途告知する。実習に際しては、白衣、日本人体解剖学(上巻)を持参すること。

準備：

予習：骨と関節について教科書で予習をしておくこと。所要時間 20 分

復習：2020 年度 SF1-2 定期試験の該当箇所での学習内容を確認する。(2020 年度の骨学実習は二学期 (SF1-2) に実施された。)

SF 1-1 16：骨学実習 2

日時：7月7日（水） 3 時限

担当者：永島 雅文(解剖学) 藤田 恵子(解剖学) 高野 和敬(解剖学) 栗崎 知浩
(解剖学) 矢部 勝弘(解剖学) 青地 英和(解剖学)

内容：

同上

SF 1-1 17：骨学実習 3

日時：7月7日（水） 4 時限

担当者：永島 雅文(解剖学) 藤田 恵子(解剖学) 高野 和敬(解剖学) 栗崎 知浩
(解剖学) 矢部 勝弘(解剖学) 青地 英和(解剖学)

内容：

同上

SF 1-1 18：骨学実習 4

日時：7月7日（水） 5 時限

担当者：永島 雅文(解剖学) 藤田 恵子(解剖学) 高野 和敬(解剖学) 栗崎 知浩
(解剖学) 矢部 勝弘(解剖学) 青地 英和(解剖学)

内容：

同上